

🧬 知っておきたい大切なこと

- 造血器腫瘍遺伝子パネル検査について、事前に「がんゲノム医療コーディネーター」から面談による説明があります。
- 検体と必要な診療情報が外部の検査会社に送られます。検査結果のご報告まで1～2ヶ月かかります。一部の結果については1～2週間程でお伝えできる場合もあります。
- 造血器腫瘍遺伝子パネル検査で得られた結果は患者さんの同意の上、国立がん研究センターの「がんゲノム情報管理センター (C-CAT)」に情報が送られます。
 - ・がんゲノム医療中核拠点病院、あるいは当院において専門家による検討が行われます。
 - ・検査結果に基づく最新の治験情報が返ってきます。
- 推奨される治療薬が健康保険が使えない場合(自費診療)*や、大学病院等での治験**を紹介する場合があります。
- 「二次的所見」として、遺伝性疾患に関係する(近親者にも関係する)遺伝子の変化が見つかることがあります。
- 検査の結果、診療に役立つ情報が得られない場合もあります。検体の品質や量によっては、結果そのものが得られない場合もあります。
- 検査結果は企業や大学などでの治療や診断のための研究に活用されます(情報の二次利用は第三者機関の厳正な審査による承認が必要です)。

* 当院では保険適応外の治療はできません。

**新薬の評価のために患者さんに参加してもらって実施する試験

🧬 造血器腫瘍遺伝子パネル検査の対象となる方の例(保険診療)

- 急性骨髄性白血病
- 骨髄異形成症候群
- 急性リンパ性白血病
- 慢性リンパ性白血病
- 鑑別の難しい悪性リンパ腫
- 多発性骨髄腫



上記の疾患の患者さんが主な対象です。
また、原因不明の著しい血球減少症の方も検査を受けられます。

※疾患のタイプによって、検査に適したタイミングや適応が異なります。主治医が検査に適しているか総合的に判断します。主治医にご相談ください。

※検体は腫瘍細胞と別に正常細胞が必要です。
・腫瘍細胞：採血検体や骨髄血、リンパ節等の組織
・正常細胞：頬の内側の粘膜、または爪

造血器腫瘍パネル検査を保険診療で実施できるのは、厚生労働省が指定するがんゲノム医療中核拠点病院、拠点病院、連携病院のみです。県内では当院と東北大学病院を含む5施設で受けられます。(令和7年4月1日現在)

保険診療で実施される造血器腫瘍遺伝子パネル検査は高額療養費の限度額適用が可能です。入院中であっても検査が受けられます。造血器腫瘍の同一疾患につき1回の検査です。

お問い合わせ

地方独立行政法人宮城県立病院機構
宮城県立がんセンター がん相談支援センター

〒981-1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山47-1

TEL:022-384-3151(代)

2025年7月1日初版

遺伝子を調べる新しい医療

造血器腫瘍 遺伝子パネル検査 のご案内

～血液のがん患者さんのためのゲノム医療～



地方独立行政法人宮城県立病院機構
宮城県立がんセンター がんゲノム医療センター



造血器腫瘍 遺伝子パネル 検査とは



私たちの体を作っている細胞は、時々 DNAの複製ミスが起こります。それが蓄積することで「がん細胞」になります。血球の元になる細胞や若い血球にも複製ミスによってさまざまな疾患が引き起こされます。

造血器腫瘍遺伝子パネル検査は、急性白血病や悪性リンパ腫、多発性骨髄腫など「血液のがん」と呼ばれる疾患に特徴的な遺伝子の変化やゲノムの構造の変化などを調べます。一度に300以上の遺伝子を調べることで、患者さん一人一人の疾患の特徴がわかり、病気のタイプや最適な治療薬、予後の予測等、診療に役立てることができます。

検査の流れ

主治医との相談



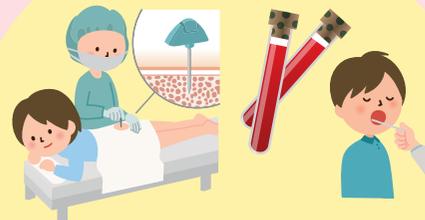
検査の適応があるか、疾患ごとにタイミングや身体の状態などから主治医が判断します。

検査説明



検査の流れや重要事項をがんゲノム医療コーディネーターが詳しく説明いたします。

検体準備



検査に必要な検体（腫瘍細胞と正常細胞）を準備します。

造血器腫瘍 遺伝子パネル検査



検査会社に送られ、次世代シーケンサーという機器で300種類以上の遺伝子を調べます。

中間報告で1～2週間で一部の結果をお知らせできる場合があります。

専門家会議



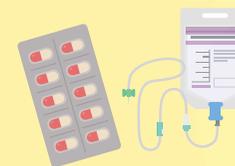
パネル検査で得られた情報から、治療について専門家が話し合います。

結果説明



主治医から検査結果や治療方針が説明されます。場合により遺伝カウンセラーをご紹介することもあります。

治療



推奨された治療薬、あるいは検査によって判明した病型に基づいた治療が行われます。